

中南信ブロック 感染予防対策

【リーグで行うこと】

- ・ 毎回、参加者の記録を付けて保存しておく（消毒、体温チェックや行動歴などの確認をする）
- ・ 練習、試合時は手洗い、うがい、道具の消毒などこまめに行う。
ほか、日本協会、信越連盟、中南信ブロックのガイドラインに従う。
- ・ 大会時は、自リーグの選手、指導者、保護者、応援の方（会場に入る方全員）の健康チェックシートを本部に提出する。
- ・ 大会会場、グランド入りする際は、全員、マスク着用。

＜運営よりお願い＞

- ・ 試合のベンチ内の消毒・除菌作業は、お母さんたちがベンチ内に入らず出来るように選手や指導者が作業に慣れて行ってください。
- ★ 試合中のベンチ内の消毒用品（手、指用アルコール・道具除菌用）は自チームで持参してください。

【指導者】

- ・会場入りの際はマスク着用。
- ・ベンチ内では、マスク着用。グラウンドでは着用しなくても良い。
- ・連絡・指示は手短に行う。
- ・ベンチ内で選手が極力密にならないよう指導をする。

<運営よりお願い>

- ・試合中のベンチ内の定期的な道具の消毒作業・手、指のアルコール消毒の推進
など選手への指導をお願いします。

お母さんたちは応援に行かれるように協力をお願いします。

- ベンチ内の消毒は、共有して使用するものは都度、除菌を行います。

特にヘルメット（ミズノ用具はアルコール・塩素系の消毒はしないよう通達が出ているので、適切な方法で消毒を行う）

【審判部】

- ・原則、マスクは着用する。

マスクの色は黒が望ましいが、難しい場合は極力、白以外とする。

- ・選手との距離を保ち接触しない。

<運営よりお願い>

- ・気温が高くなることが予測される日は、汗を拭くためのおしぼりが小さく何枚も必要になる可能性があります。タオルをご持参いただき、クーラーボックスに入れて頂けると助かります。

<試合について>

- ・球審はマスク着用。やむを得ない場合は、ストライクコールのみ横向きにて行っても良い。その他のコールはノーボイス。
- ・塁審は2 m以上選手から離れてジャッジを行う。
- ・用具チェックはベンチ入り後に、マスク着用、消毒液使用のうえ行う。
- ・試合記録、投球数の控え審判は三密にならないよう、ソーシャルディスタンスを保つ。
- ・試合前の整列（あいさつ）は、ホームベース前に集合せず、それぞれのベンチ前に整列して行う。
- ・試合中の給水ドリンクは、運営側でペットボトルを用意するが、飲みかけのドリンクは、試合終了後、各自持ち帰ること。
- ・昼食、飲み物は各自持参する。なお、昼食代 600 円をブロックより支給。
 - * 食中毒にならないよう、保存方法などには十分注意する。

【試合・大会について】

- ・サイドネットは張らない
- ・アナウンスは行わない。シートノックや呼び出しのアナウンスは理事が行う。
- ・選手チェックは行わない
- ・あいさつはベンチ前に整列して行う（ホームベース前に集合はしない）
- ・応援の方たちはマスクを着用。
ソーシャルディスタンス（社会的距離）を心掛ける。
- ・役員・理事は飲み物・昼食を各自持参して下さい。

【大会・練習試合の準備】（ブロックで用意が無い時のセット方法）

- ・会場内、手指消毒用ジェルあるいはスプレー設置（本部1、入口1）
- ・アルコール消毒とふき取り用ペーパー。あるいは除菌シートを用意
- ・使い捨て手袋を用意 *** 作業の時は、手袋を着用してください**
- ・審判給水用ドリンク（1人ペットボトル1～2本入れておく）
1試合4～8本。プラス予備分購入。
予備のドリンクは1本補充し、継ぎ足しはしない
給水用ドリンクは天候や気温に合わせ考慮して下さい
- ・ジャグ・ポット・紙コップなどを使用しない。
- ・使い捨ておしぼり、あるいはウェットペーパー（汗拭き用）
（クーラーボックスに設置）

・ 審判用ごみ袋（小）（給水の隣に設置し、試合後回収）。試合ごとに交換。

・ 使用後、クーラーボックスは、全て除菌してから次に使用する

* 試合終了後、飲みかけのドリンクは持ち帰って頂く。

必要に応じ汗拭きシート（おしぼり）も使用してもらう。



クーラーボックスには
水と氷を1/3位入れる

用意するもの

- ・ アルコール消毒スプレー
- ・ ペーパータオル
- ・ 使い捨て手袋
- ・ 使い捨ておしぼり
あるいは、汗拭きシート
- ・ ゴミ袋（小）
- ・ 手消毒用ジェルなど
- ・ 予備用マスク
- ・ ドリンク



ゴミ袋



使い捨ておしぼり

あるいは、汗拭きシート

3～4枚入れる